

9GHz 帯(X バンド)レーダー周波数計

YSM-RFC70

取扱説明書

YOKOHAMA SYSTEM MARINE

有限会社横浜システムマリン

横浜市都筑区茅ヶ崎南 3 - 4 - 9

TEL 045-949-2025 FAX 045-941-5074

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有難う御座います。
ご使用に先立ち、この取扱い説明書を是非一読下さいますようお願い申し上げます。
なお、性能向上のため仕様外觀等の一部を予告なく変更することがありますので
あらかじめご了承下さい。

使用方法

- 1 周波数計の電源を投入してください。
(予熱時間を2~3分とると正確に測定できます)
- 2 被測定レーダーをロングレンジ(24マイル等)で送信してください。
- 3 あらかじめ被測定レーダーの送信周波数にあわせて、本機右上のバンドスイッチを切り替えておいてください。
(9475・9410・9445MHz)
- 4 測定可能な距離は5mから30mです、船橋で測定できるかGAINボリュームを上げておき(TUNEメーターが振れるか)TUNEボリュームを回してみてください。
船橋にてメーターが振れない場合は船橋外にでてみてください。
(条件にもよりますが本機をレーダー空中線に向けなくても測定できます、レーダー波は高出力ですのでむやみに近距離で空中線に向けると本機受信部が飽和し測定しづらくなるおそれもあります)
- 5 TUNEメーターを8割くらいに振れるようにGAINボリュームをあわせて最大値になるようにTUNEボリュームを回してみてください。

ヒント!

レーダー波はパルス波ですので検波の特性上若干の周波数にズレは生じます
TUNEボリュームを合わせて最大値より周波数を上方向にTUNEボリュームを
まわしてメーターの振れが落ちる点で測定すると良いでしょう。
最大値がわかりづらい場合はメインビームを避けてサイドビームで変化の
少ない点で測定すると良いでしょう。

- 6 その時点での実際に表示されている周波数が測定周波数になります。

1 概要

本器は携帯型の 9GHz 帯レーダーの周波数計です。

高感度を実現し、レーダー空中線から離れた場所でも容易に周波数測定が可能になりました。

2 特徴

LCD 表示にて測定周波数が直読できます。

いままで船上にて苦勞していたレーダー周波数測定が簡単に行えます
レーダー空中線の回転を止める必要も無く船橋周辺にて測定が可能です。

ニッケル水素電池単 3×8 本にて動作しますので船上の電源を使用せず測定可能です。

3 仕様

測定周波数	P0N 9330 ~ 9480MHz
測定確度	1.5 × 10E-4
使用温度範囲	0 ~ 40
電源電圧	DC7V ~ 12V (ニッケル水素電池単 3×8 本)
重量	2.3kg
寸法	H100 × W210 × D160mm
付属品	ニッケル水素電池：HR-3UF/4B (富士通) 8 本 充電器：FC342F (富士通) 4 本用 2 組

4 外観図

